

## TOPICS

## 1

## 「地域脱炭素創生・岡山コンソーシアム」設立



岡山大学、環境省中国四国地方環境事務所、株式会社中国銀行の3機関が共同で事務局となり、産学官金の新たな連携組織「地域脱炭素創生・岡山コンソーシアム」を3月5日に設立しました。

同日に開催された「地域脱炭素創生・岡山コンソーシアム第1回協議会」は、環境省主催の「環境政策にかかわる全国行脚（岡山県）意見交換会」を兼ねて開催され、環境省の穂坂泰環境大臣政務官が出席し、「地域脱炭素の動向」についての講演がありました。

榎野博史学長は、「2050年カーボンニュートラル」の目標の達成に向け2030年までの「勝負の10年」に、コンソーシアムを中心に支援の輪を拡げ、地域が一丸となり「晴れの国おかやま」の特性を活かした「地域ならではの」地方創生・脱炭素社会の実現を目指すことを呼びかけました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id10989.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10989.html)



## TOPICS

## 2

## 株式会社好日山荘とSDGsの達成に向けた包括協定を締結

3月9日、株式会社好日山荘とSDGsの達成に向けた包括協定を締結しました。本協定は、双方の資源を有効活用し、連携・協力することにより、平等で公正な共生社会の実現および自然環境の保護について、より一層の推進を図り、SDGsの達成に貢献することを目的としています。

本学と同社は、障がい等の有無にかかわらず、すべての人にさまざまな野外活動への参加機会を提供する「アウトドア・バリアフリー」について共同実践を進めたことが契機となり、地球に住まうすべての人への健康・福祉の推進および地球環境の保全という双方の理念と目的が一致したため、産学連携による包括協定を締結し、SDGs達成へ向けてより一層の貢献を目指すこととなりました。

調印式では、榎野博史学長、池田真吾代表取締役社長が協定書に署名。榎野学長は「本協定が、SDGsの達成とプラネタリー・ヘルスの実現という地球規模の課題解決に資するものとなることを願う」、池田社長は「今後多岐に渡りこの連携が具体的にスピーディーに発展していくことを切に願います」とあいさつしました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11008.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11008.html)



## Pick up!

## 「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」で「岡山大学観光DX推進グループ」がグランプリを受賞！



2月19日、岡山市が主催する「学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト」で、「岡山大学観光DX推進グループ」がグランプリを受賞しました。「岡山大学観光DX推進グループ」は、中澤拓也さん（経済学部4年）、宮本大輝さん（大学院自然科学研究科（博士前期）1年）、疋田智矢さん（工学部4年）、池坂和真さん（同4年）、川田優太さん（工学部3年）の学生5人で構成するグループで、学術研究院社会文化科学学域の西田陽介教授が団体代表を務めています。本グループは、人々の趣味や嗜好などのデータ情報を用いて、個人や団体、状況に応じて最適な観光地・観光ルートをアプリで提案する「観光の個別最適化アプリ」を企画しました。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11001.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11001.html)



TOPICS

3

## 新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種3回目を開始

本学は3月15日、大学等における学生・教職員等を対象とする新型コロナウイルスワクチン接種（大学拠点接種）3回目を津島キャンパスの第二体育館で開始しました。

今回のワクチン接種は、3月29日までは1日あたり約500人の大規模で実施し、4月11日からは同キャンパスの学生会館に新設した常設の「保健管理センターワクチン対策室さくらルーム」で1日あたり約90人の小規模で9月まで実施する予定です。

本ワクチン接種は、最近の新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、大学生等が安全・安心を確保し本来の大学活動を取り戻すことを目的に、学生・教職員（教職員の家族を含む。）全員へのワクチン接種の機会を提供するため実施します。3月に卒業・修了していく学生にも、3回目接種を終えて本学を巣立っていけるように優先して予約を受け付けるなど配慮し、年度の切り替わりを考慮し新入生の健康診断などの業務と調整しながら実施していく予定です。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id11006.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id11006.html)



TOPICS

4

## DXをメインテーマに令和3年度「岡山大学未来懇談会」を開催



本学では、次世代を担う若手教職員が自由な発想で持続可能な岡山大学を考える新たな大学ガバナンスプラットフォームとして「岡山大学未来懇談会（未来懇）」を平成29年度より開催しています。本年度は、本学の学生も加わり、「『攻めのDX』-教育・研究×DXで拓く新たな地平-」をテーマとして、3月2日に開催。「入試・入学前教育×DX」、「在学中×DX」、「研究×DX」をテーマに、教員・職員・学生のそれぞれの立場に基づいた視点から、課題やアイデアなどについて活発な議論を行いました。

未来懇で出たアイデアや意見を実際の大学改革に取り組んでいく「実現性」も重要です。短期的、中・長期的に取り組む内容を明確にし、10年後も「選ばれる岡山大学」の実現を進めていきます。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id10995.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id10995.html)

PRESS  
RELEASEガンを発症させる細胞の環境（ニッチ）とは？  
～慢性炎症が放つフォース～

学術研究院ヘルスシステム統合科学学域の妹尾昌治教授らの研究グループでは、この10年間iPS細胞からがん幹細胞が生まれる条件を研究し、iPS細胞を慢性炎症様の環境に晒すことにより、遺伝子に異常をもたらす様な条件を用いずとも短期間でがん幹細胞が発生することを見出してきました。

今回、がん幹細胞が発生する細胞の環境について新しい概念を提唱し、肝臓、膵臓および卵巣の場合を例に挙げて、がん分野でも権威のある学術誌「*British Journal of Cancer*」に発表し、3月15日に掲載されました。

この概念が広く受け入れられる様になれば、ガンを予防する方法が明らかになると考えられます。

参考 [https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id941.html](https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id941.html)



Afify博士（左）と妹尾教授

